



# まどか 便り

共に優しく生きる

令和2年12月

訪問介護に多い！！(チームで考えよう。)

## 車いす事故の再発防止を考えよう!?

何故多い?  
特徴は?

自宅の場合、車意思を扱うのには十分とは言えない広さの中ですりようしている事に加え、移乗時の動作が、利用者だけではなくホームヘルパーにも負担が大きいといった点が、車いす事故が多い原因と言えます。

まだ利用者の人身事故だけではなく、財物事故やホームヘルパー自信のケガなど、さまざまな事故が発生する点も大きな特徴です。

◎車いすによくあるケース

移動時 『廊下を曲がる際、利用者のひざが壁にぶつかりあざが出来てしまった。』  
利用者宅によっては、廊下の幅が狭く車いすが通るのもギリギリという場合が。移動先への同線上に荷物が置かれていることもありそうした環境も原因  
『フットレストから出た足先を壁にぶつけてしまう。』

移乗時 『車いすへの移乗の際利用者様と一緒に転倒した。』  
利用者宅の場合狭い寝室に介護用ベッドと車いすを置くと、十分なスペースが取れない。利用者もヘルパーも動きが制限される事で体制を崩し、転倒してしまう場合がある。

まだまだ沢山あると思います。段差や手の位置座っている体制等皆さんはどうですか？

## 車いす事故を起こさないための取り組み

◎ ここからはグループで考えて下さい。

Aチーム (中尾さん 前田さん 細見さん) Bチーム (山口さん 川上さん 能坂さん)

Cチーム (高田さん 佐々木さん 池田正)

Aチーム …

Bチーム …

Cチーム …

実際にやってみよう！！